

平成25年行政事業レビューシート (外務省)									
事業名	国際復興開発銀行 (IBRD) ・ 国際開発協会拠出金 (任意拠出金)			担当部局庁	国際協力局 / 中東アフリカ局			作成責任者	
事業開始・終了(予定) 年度	平成22年度開始			担当課室	アフガニスタン支援室 / 中東第一課			室長 原 圭一 課長 長岡寛助	
会計区分	一般会計			政策・施策名	VII-3 国際機関を通じた地球規模の諸課題に係る国際貢献				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第3号			関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	アフガニスタンの持続可能な開発に向けて、効果的・効率的な支援が一層重要になっている中、世銀が管理する本基金は、アフガニスタン政府が求める同国政府予算を通じた支援として最も有効に機能している枠組の一つである。本基金への拠出を通じて、2014年末の治安権限移譲完了を控えたアフガン政府の行政能力を強化するとともに、農村コミュニティにおいて生計安定化及びガバナンス強化を図る。 また、厳しい財政状況と経済悪化により機能不全になりつつあるパレスチナ自治政府に対し基金を通じて財政支援を行い、パレスチナ自治政府の行政能力の安定に寄与する。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	1 農村において、人口の8割を占める農民に対し貴重な現金収入源となる園芸作物と畜産に係る技術指導や物資支援を行う。 2 各地域コミュニティが、自ら開発プロジェクトを計画、実施、評価することを通じ、コミュニティ単位のガバナンス能力向上と生計安定化が進むように支援する。 3 教師を含む公務員給与の支払停滞等の結果基礎的行政サービスが停止することがないよう、経常経費の全てを自国歳入で賄うことができないアフガニスタン政府及びパレスチナ自治政府に対して財政支援を行う。								
実施方法									
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		補正予算	1,880	12,282	9,720				
		繰越し等	—	—	—				
		計	1,880	12,282	9,720				
	執行額		1,880	12,282	9,720				
	執行率 (%)		100	100	100				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標				単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	【成果目標】アフガニスタン政府主導による政策運営及び地方コミュニティの自立と生活改善 ※成果目標の達成を測る参考指標の一つとして、アフガニスタン政府への権限移譲の進展			成果実績		権限移譲開始前	権限移譲第2対象地域(2011年11月～)の居住人口	権限移譲第4対象地域(2013年2月～)の居住人口	
				達成度	%	0%	50%	87%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	複数国からの拠出金を合わせて特定のプロジェクトに活用する仕組みであるため、活動指標はプロジェクト全体の活動実績を示す。			活動実績 (当初見込み)		地方コミュニティ道路整備: 地方道路3,000kmの建設	(1)中央省庁能力強化:上級管理職員750人の能力強化 (2)国家連帯プログラム:全土の73%の村落で実施 (3)政府機関の経常経費:198百万ドルを国家予算に拠出(2012年)	(1)国家園芸・畜産生産性向上計画:果樹園3,500ha開墾、生産性15%向上 (2)国家連帯プログラム:全土の73%の村落で実施 (3)政府機関の経常経費:72.5百万ドルを国家予算に拠出(2013年4月時点)	— ()
単位当たりコスト	ドナー各国からの拠出額を受けて、各種事業が随時実施されるため、個々の単位算出は困難。			算出根拠	—				
平成25・26年度予算内訳	費 目		25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	計								

事業所管部局による点検					
	項 目		評 価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	アフガニスタンの権限移譲を円滑に推進し、同国政府の統治能力を強化することは、同国及び周辺地域の平和と安定の基礎となる。右は2001年以降のテロとの闘いを通じて、我が国民及び国際社会が追求してきた目標でもある。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	アフガニスタンにおいては、2014年末の権限移譲完了以降、外国支援の漸減が予想されている。持続可能な開発のためには、開発予算の効率化と予見可能性の向上が不可欠。本件基金は、アフガニスタン政府機関の能力強化、同国政府予算を通じた支援を通じて、限られた援助資金を効率的に活用する観点から重要であり、資金規模の拡大とともにアフガン側に一層の努力を促すための仕組みも導入されるなど、制度改革も進められている。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	本件基金はアフガニスタンの経済・財政状況を踏まえつつ、三年ごとに戦略をレビューしており、抛出国の承認を得て実施されている。大規模インフラ事業のみを対象とするADBが管理する基金との役割分担も明確である。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検結果	世銀は、我が国が拠出した事業を含む基金全体の状況及び個々の事業の進捗状況について定期的にレポートを作成し、ホームページ上に公表している。また、抛出国を対象とする会合を定期的に開催しており、これに出席している我が国に対しては、世銀が把握している事業の状況をより詳細に説明している。これらに基づき、我が国の拠出事業は適切に管理されていると評価できる。				
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
	平成22年		平成23年	68	平成24年 91